

臼杵市 施策評価シート

(令和5年度)

評価 担当課	課名
環境課	

コード	VII-20-46	施策名	ごみの適正処理・減量化の推進
まちづくりの 目標	豊かな自然環境で市民が潤い、活力あふれるまち(生活環境)	施策の方針	環境にやさしい資源が活かされ循環するまちをつくる
5年後の めざす姿	循環型社会の形成を図るため、ごみの減量化や資源化を進めます。市民、事業者・各種団体及び行政が連携・協力し、ごみの適正処理を行うこと によって、ごみ処理に伴う環境負荷の低減をめざします。		
施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化や資源化を推進するため、ごみの排出抑制及び適正処理、4R運動を推進する。 ポイ捨てや不法投棄の抑制対策として、監視体制を強化する必要がある。 ごみ処理に係る経費を削減するため、広域でのごみ処理を計画する。 		

<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次臼杵市総合計画 後期基本計画>

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	一般家庭からのごみの焼却量	1人当たりの家庭系可燃ごみの 年間収集量	目標	kg	/	142.6	142.0	141.4	140.8	140.3
			実績		152.3	155.3	149.3	151.1	146.3	
			達成率	%	/	91.8%	110.3%	108.4%	96.2%	
	ごみ収集時の分別不良による取り残し 件数	臼杵市内(臼杵地域のみ)の各ス テーションで回収時の取り残し実 績数	目標	件	/	5,507	5,255	5,003	4,751	4,500
			実績		4,563	3,301	2,833	4,134	4,349	
			達成率	%	/	166.8%	185.5%	121.0%	109.2%	
			目標		/					
			実績							
			達成率	%	/					
			目標		/					
			実績							
			達成率	%	/					
			目標		/					
			実績							
			達成率	%	/					
			目標		/					
			実績							
			達成率	%	/					
指標の 進捗状況	順調	指標の分析	一般家庭からのごみの焼却量は、増加傾向ではないものの、目標を達成できていません。新型コロナウイルス感染症により家での在宅時間が増加したことでごみの量が増加したと考えられます。また、ごみ収集時の分別不良による取り残し件数については、目標は達成しているものの増加傾向にあります。理由としては、ごみの焼却量と同様の新型コロナウイルス感染症の影響によるものと考えられます。							
		指標達成に向け 今後の流れ	4Rへの取り組みとごみの分別不良件数が増加しているため、ごみ分別の啓発を推進します。							

<市民意識調査結果 R6実施結果>

領域名	必要度	満足度	
向上領域	2.56	2.11	
向上領域:今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域:満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域:サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域:施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域	浸透度	88.71%	
過去の 調査結果 (領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	向上領域	向上領域	向上領域

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項	
			R4年度実績	R5年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度		
1	広域ごみ処理事業	白杵地域の可燃ごみ及び野津地域のごみの広域処理	環境課	240,302	237,680	有	概ね順調	強化	貢献度中	○
2	廃棄物処理事業	白杵地域のごみ収集及び清掃センター等施設の維持管理	環境課	162,839	161,893	有	順調	強化	貢献度中	○
3	各種リサイクル事業	白杵地域から発生する各種資源物の処理(資源化)	環境課	64,716	63,057	有	順調	強化	貢献度中	○
4	環境美化活動支援事業	市民主導の美化活動の支援及び啓発	環境課	306	396	有	順調	検討	貢献度中	○
5	広域し尿処理事業	野津地域のし尿等の広域処理	環境課	35,537	41,888	有	概ね順調	見直し	貢献度中	○
6	し尿処理事業	白杵地域のし尿等の処理	環境課	35,984	40,242	有	概ね順調	強化	貢献度中	○
7										
8										
9										
10										
合計				539,684	545,156	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

<次年度以降の課題>

市民へ対して、現状で満足することなく、さらなる4R(リデュース(発生抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再生利用)・リフューズ(拒否))への取り組みを推進するため、ごみの適正処理・減量化に向けた啓発について、これまでの踏襲だけでなく新たな手法を検討する必要があります。また、ごみの分別不良により回収できなかった取り残し件数が増加しているため、原因の分析とごみ分別の啓発を強化する必要があります。

施策の評価 (今後の施策の方向性)

評価の選択肢 ○ 向上 … 現状の通り維持向上する ○ 強化… 現状より強化を図る
 ○ 見直し … 現状を見直し適正化を図る ○ 検討… 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>…評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
向上	令和元年度に改訂した、「一般廃棄物処理基本計画」に基づいた各種施策を実施し、目標の達成を目指します。 また、本市を含めた広域6市により、令和9年度の稼働開始に向け新環境センターの整備を進めているところであり、整備部会等でも、「ごみの適正処理・減量化の推進等について」の協議を行っているところです。 さらに、令和5年度は、「白杵市環境美化功労者」に対し、感謝状の贈呈を行いました。今後も、市民、事業者・各種団体に対して連携・協力の啓発活動を積極的に行い、環境負荷の低減します。